



### 神戸大学「震災文庫」のご紹介

神戸大学附属図書館「震災文庫」は、阪神・淡路大震災(1995年1月17日)の被害・救援・復興などに関する資料を網羅的に収集する震災アーカイブです。災害復興や防災対策に貢献し、震災関連資料を後世に伝えることを目的としています。

震災直後より現在まで商業出版物や講演資料、チラシ類、写真など様々な種類の資料・文献を収集して同大学社会科学系図書館で一般公開しており、一部はデジタルギャラリーで閲覧できます。

震災文庫のウェブサイトからは、阪神・淡路大震災記念：人と防災未来センター、兵庫県立図書館の3機関が所蔵する震災関連資料の横断検索も可能です。国立国会図書館東日本大震災アーカイブ「ひなぎく」とのメタデータ連携により、ひなぎくから検索することもできます。

震災文庫の活用事例として、東日本大震災(2011年3月11日)の際には被災地域の皆様に阪神・淡路大震災関連資料をご紹介し、FAXやメールで提供するサービスを実施いたしました(現在はサービス終了)。

また、2004年度より5年ごとに収集資料の展示会を開催しています。2015年度からは毎年1月に、直近の展示会をリバイバル展示しており、2017年度は本学人文学研究科関連2組織と共催し、「阪神・淡路大震災と地域の復興—23年目の神戸と地域・コミュニティの課題—」(1月11日~2月1日)と題し、リバイバル展示を含めたコラボ展示を開催しました。学内外の展示会や資料展にも協力しています。最近では、デジタルギャラリーで公開中の写真が台湾歴史博物館の展示会「地震帯上の共同体：歴史の中の日台震災(2017年6月27日~12月3日)」に利用されました。

他にも、国内外の震災アーカイブ活動の交流を目的として、2012年度より本学人文学研究科地域連携センターと共に「被災地図書館との震災資料の収集・公開に係る情報交換会」を開催して、近畿、新潟、東北、熊本をはじめとした国内外の公共・大学図書館や研究機関等の震災アーカイブと交流の場を持っています。2017年度は1月29日に開催しました。

かつての私にとって阪神・淡路大震災は「小学生の頃ニュースで見た、知らない土地の災害」だったのですが、神戸大学に入職した年に震災文庫で避難所のチラシを見せていただき、近隣の方から「工事の揺れや騒音で震災を思い出して眠れない」と伺い、震災や災害全般に対する意識は少しずつ変わってきました。そのため震災文庫の概要も承知しているつもりでしたが、本稿を執筆するために改めて調べると、思った以上に幅広い活動が展開されていて、不明を恥じるとともに大変驚かされました。現在私は震災文庫と直接に関わる部署にはいませんが、神戸大学附属図書館の職員として少しでも活動の周知や発展に寄与できるよう努めていきたいです。

【谷口 由佳(神戸大学附属図書館)】

### saveMLAK 活動報告会 2018

saveMLAK では、今まで取り組んできた活動を振り返る会として、例年6月に、saveMLAK 活動報告会を行なっています。

第1部では、毎月行っている saveMLAK MeetUpを行います。

第2部では、代表の岡本氏による特別講演や、saveMLAK のこれまでの活動の振り返り、saveMLAK ウィキ更新方法のチュートリアル、みんなでやる saveMLAK ウィキの更新作業(ウィキ祭りと呼んでいます)などを行います。

特に、第2部は初めて参加する方にもとっつきやすい内容となっています。第2部からの参加だけでも歓迎ですので、ぜひご参加ください。

逆に、saveMLAK MeetUp へ参加したいが、敷居を感じている方がいらっしゃいましたら、この機会に、第1部から参加つまり、saveMLAK MeetUp に参加されてはいかがでしょうか？

#### 【開催日時】

2018年6月24日(日) 14:00~16:30

#### 【会場】

- ✓ 東京:筑波大学東京サテライト文京校舎
- ✓ 大阪:エル・ライブラリー(大阪産業労働資料館)
- (他、会場設置募集中)

#### 【詳細 URL】

<http://savemlak.jp/wiki/saveMLAK:Event/20180624>

【江草 由佳】

## コペンハーゲン訪問記

コペンハーゲンを 2018 年 3 月に訪問しました。素敵なインテリアが標準装備といった感じで、どこに行ってもおしゃれな空間で癒されました。写真は、通称ブラック・ダイヤモンドと呼ばれている王立図書館の建物を撮影したものです。一つ目の写真では、川に面している黒いのが新館で、茶色の建物が旧館で、ガラス張りの建物で繋がっているのが良くわかると思います。もうひとつの写真は、新館の中から撮影したところです。中央が吹き抜けになっていて、とても開放的でした。

【江草由佳】

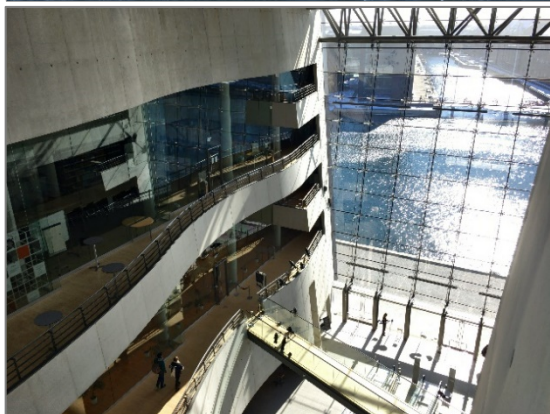
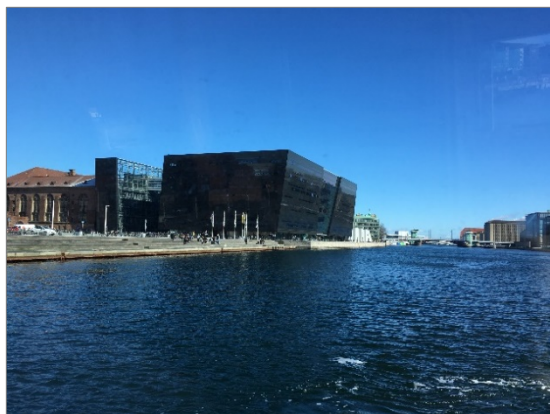


写真:デンマーク王立図書館の外観と内部

### 3・4月の出来事と今後の予定

2018年3月20日

- ✓ 第85回 saveMLAK MeetUp。複数拠点を つないで実施(大阪ほか)。

2018年4月24日

- ✓ 第86回 saveMLAK MeetUp。複数拠点を つないで実施(東京、大阪)。

2018年5月24日

- ✓ 第87回 saveMLAK MeetUp。複数拠点を つないで実施予定。

2018年6月24日

- ✓ 「saveMLAK 報告会 2018～社会教育・文化施設の救援・復興支援～」。

### saveMLAK 会計 2018年1～3月期会計報告

<収入>

グッズ売上	17,400	図書館総合展
受取寄付金	13,145	懇親会等有志
計	30,545	

<支出>

広報費	2,160	総合展ポスター
支払手数料	216	振込手数料
計	2,376	

3月末現在 残高	715,843	(12月末比 +28,169)
-------------	---------	-----------------

【ファンド係:赤塚 昌俊】

### 編集後記

今年も桜の季節を経て、春から初夏、梅雨へと季節がめぐってきました。いかがお過ごしでしょうか。東日本大震災から早7年、昨年から今年にかけては、三陸沿岸部の公共図書館が続々と開館してきています。各地で復興に尽力されてきた関係者の皆さまに敬意を表するとともに、ぜひ機会を見つけて訪問したいと思っています。また6月には、saveMLAKの活動報告会を開催します。ぜひ最寄りの会場までお越しください。

【編集担当:高久雅生】

編集発行:saveMLAK プロジェクト

発行日:2018年4月29日(第55号)

発行所:神奈川県横浜市中区相生町3-61 泰生ビル

さくらWORKS <関内>408

アカデミック・リソース・ガイド株式会社内

saveMLAK プロジェクト

E-mail: pr@savemlak.jp

URL: http://savemlak.jp/



※saveMLAK ニュースレターはクリエイティブ・コモンズライセンスにより提供、頒布しています。複写・配布等、自由にしていただいて構いません。